

令和2年度 事業報告
(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

今年度の背景

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により、事業・活動が縮小。実施事業は感染予防対策を講じながら活動を行いました。そのため、職員のメンタルケア、有休等福利厚生を整備にも尽力しました。

妊娠期～出産～子育てにおける産前の親になるための学びの場の中止や、産後入院中に家族に赤ちゃんを会わせることができない、緊急事態宣言等により里帰りや実家の親が手伝いに来るなどの産後の周囲のサポートを自粛するなどの産前産後へ大きな影響が出ています。

また、そのような中で産後うつ・ストレスによる虐待へつながるリスクが高まったことから、緊急的に産後ケア事業を立ち上げ、不安の解消、心身のケア、仲間や地域とのつながりを創出した。また、子どもを連れて買い物にいくと色々さわって迷惑がられてしまう、公園の遊具が使用不可、など乳幼児親子もひきこもりの自粛生活で親子ともどもストレスを抱える事態となりました。

外出自粛、密を防ぐ感染対策と、子どもの育ちに必要な環境、子育てと地域がつながる環境づくりは相反することも多いため常に緊張感がありますが、子どもの発達に応じてさまざまな人々との関わりの必要性や社会が大きく変化するなかで困りごとの深刻化もあり、活動の意義を強く感じながら事業にあたりました。

また、東日本大震災から10年を迎えました。活動を支えてくれているすべてのみなさまに感謝と、心の復興は引き続き子育て支援としても必要を感じていますので取り組んでいきたいと思えます。

令和2年度 事業全体の方針

- ・いつでも原点回帰
- ・妊娠期、子育て期の当時者ニーズを把握し、真ん中にしながら事業を展開する。
- ・多様な子育て、多様な育ちを理解し柔軟に寄り添う。
- ・エンパワメントの視点を大切にする。
- ・子どもの権利の視点を持ち、子どもの育つ力を引き出し見守る子育て支援を行う。
- ・地域へニーズや実態を届け子育てフレンドリーな地域づくりを促進する。

令和2年度 重点目標

- ・組織基盤強化、持続可能な団体づくり
- NPO 組織、経営について学ぶ
- 事務局・管理体制を整える。
- 賛助会員100名
- 団体のビジョンミッションを明確にする

ビジョン：子育てを快適に。子どもの笑顔いっぱいのまちづくり

1, 妊娠期からの切れ目ない子育て支援

【親子の居場所づくり】孤立解消、乳幼児親子同士のつながりによるピアサポート、遊びや学びを通して親子の主体性を育む、地域へつなげる

- ① 【委託事業】地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）
- ② 【自主事業】出張イベント（千趣会）

2, 妊娠期からの切れ目ない子育て支援

【相談・利用支援・関係機関との連携】相談の受け止め、寄り添い、親子の状況にあわせて適切な情報提供、資源とつなぐ、関係機関との連携

- ③ 【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょ i s s y o」）（子育て支援課）
- ④ 【自主事業】産後ケア事業（ジョイセフ）

3, みんなで子育て

子どもたちをみんなで育てるきっかけづくり、みんなが子育て当事者。多世代交流の機会をつくる

- ⑤ 【委託事業】ファミリーサポート事業（子育て支援課）
- ⑥ 【委託事業】子育て参加促進事業（子育て支援課）
- ⑦ 【委託事業】父子手帳作成業務（健康推進課）
- ⑧ 【自主事業】ホームスタート事業（みやぎチャレンジ助成金）
- ⑨ 【委託事業】のぞみ野地域力強化事業（草の根応援助成金）（包括ケア推進室）

4, 子どもの居場所、子どもの権利の啓発

子ども自身の力を信じて周囲の大人が理解し関わることで、子どもは守る存在から、共に生きる存在へ。子育てが楽しくなる。

- ⑩ 【指定管理事業】いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンターらいつ（児童館）の運営

5, 組織強化

震災から10年のまち、ひとの課題の変化をとらえ、これから組織が目指す姿を考える。財源、人材育成

- ⑪ 【自主事業】ステップアップのための土台作り（日本NPOセンター）

6, その他

- ① 【委託事業】地域子育て支援拠点事業（子育て支援課）

① 去年度振り返りと課題

休所中は、利用者さんとの繋がりが途絶えないよう zoom でプチイベントを開催した。制限のある運営の中で孤立や不安を解消できるようできることを探してきたが、利用者さんの本心や困り感に気付きにくい現状もあり、これからの課題として取り組んでいきたい。

② 今年度取り組んでみたいこと

支援センターがマタニティ期でも利用できるということの周知や、産前の方にも利用しやすい窓口を広げる工夫をしていきながら、幅広い子育て世代に寄り添っていけるひろばにしていきたい。

令和2年度石巻市地域子育て支援拠点事業実績報告書

実施施設名: マタニティ・子育てひろばスマイル

	実施日数		来訪者数				地域支援活動 回数	サークル支援 回数	相談件数		講習会等		
			大人	子ども	合計	組数			延べ総数	実総数	回数	参加者	
												大人	子ども
4月	23	日	0	0	0	0	3	0	61	56	0	0	0
5月	18	日	0	0	0	0	0	0	7	7	0	0	0
6月	24	日	193	196	389	184	5	0	18	14	4	15	14
7月	23	日	142	146	288	118	4	1	42	22	8	39	41
8月	19	日	143	150	293	131	2	1	23	17	4	24	25
9月	22	日	207	214	421	205	4	1	38	29	8	40	40
10月	24	日	209	223	432	209	3	1	27	25	5	37	39
11月	21	日	191	203	394	191	3	1	57	25	7	50	50
12月	22	日	189	197	386	186	3	1	27	23	6	41	42
1月	18	日	147	158	305	119	2	1	39	39	8	53	53
2月	20	日	158	168	326	156	1	1	31	28	4	24	25
3月	24	日	226	253	479	225	4	1	88	42	7	50	60
合計	258	日	1805	1908	3713	1724	34	9	458	327	61	373	389

元年度	合計	235 日	3187	3716	6903	3166	283	11	1131	390	161	1353	1317
-----	----	-------	------	------	------	------	-----	----	------	-----	-----	------	------

30年度	合計	257 日	3857	4660	8517	3830	409	14	1389	476	143	1349	1446
------	----	-------	------	------	------	------	-----	----	------	-----	-----	------	------

② 【自主事業】出張子育てひろば（千趣会）

コロナによる公民館の閉館など影響を受けた。寄付金を開催資金として、おさがり交換会やストレス発散になるようなイベントを企画し開催した。

開催回数 14回 参加人数 大人 181人 子ども 207人 計 388人

③ 【委託事業】利用者支援事業（子育て世帯包括支援センター「いっしょいっしょ」）

① 去年度振り返りと課題

昨年度は、コロナ禍で閉館せざるを得ない状況だったが、見守っていた利用者へ電話で声がけを行った。関係機関の訪問も、感染防止のため思うようにできなかった。

②今年度取り組んでみたいこと

今年度は相談件数も増えており、対応できるスキルアップも必要に感じている。また、関係機関訪問も増やしていきたい。

利用者支援事業 相談件数（令和2年度）

面談		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
子どもの問題	基本的な生活	睡眠	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	5
		授乳・離乳食・食事	0	1	4	7	2	1	2	2	3	3	3	1	29
		排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	0	2	4	7	2	1	2	2	3	3	5	3	34
	発育・発達	ほふく・歩行	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		身体の発育	1	0	3	1	1	2	0	2	2	2	0	2	16
		言葉	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
		社会性・性格	0	0	3	2	2	2	1	1	1	3	2	4	21
		その他	9	8	4	0	0	0	2	0	1	0	0	0	24
	小計	10	9	11	3	3	4	4	3	4	5	2	6	64	
	医学的問題	病気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		予防接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
小計		0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
親の問題	生活環境	家族関係	1	2	1	0	0	0	0	0	4	0	0	1	9
		預け先	0	0	2	4	23	8	6	1	3	2	2	8	59
		近隣・地域	0	1	4	6	1	1	1	1	5	4	1	7	32
		経済				0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
		親の健康				3	3	4	2	5	1	0	1	1	20
		妊娠に関すること				0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
		不登校				0	0	1	1	0	0	0	0	1	3
		その他	4	9	10	2	1	1	3	3	0	3	5	6	47
		小計	5	12	17	15	28	15	13	11	13	9	9	25	172
療育的支援	小計				18	19	20	26	22	20	24	23	13	185	
	合計	15	23	35	48	52	40	47	40	40	41	40	48	469	

電話・メール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
子どもの問題	基本的な生活	睡眠	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		授乳・離乳食・食事	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	3	0	8
		排泄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		小計	1	1	1	0	1	0	1	1	0	0	3	0	9
	発育・発達	ほふく・歩行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		身体の発育	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	4
		言葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		社会性・性格	1	2	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	7
		その他	4	0	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	9
	小計	6	2	3	0	2	0	2	1	1	1	0	2	20	
	医学的問題	病気	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		予防接種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	4	
小計		0	1	0	3	0	0	1	0	0	1	0	0	6	
親の問題	生活環境	家族関係	3	2	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9
		預け先	3	2	1	0	0	3	1	0	1	1	0	2	14
		近隣・地域	1		1	0	0	1	0	0	1	1	0	2	7
		経済				1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		親の健康				2	1	0	0	1	1	1	0	1	7
		妊娠に関すること				0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
		不登校				0	0	3	0	0	0	0	0	1	4
		その他	22	8	11	0	0	1	2	1	0	1	10	6	62
		小計	29	12	16	3	1	8	3	2	4	5	10	13	106
療育的支援	小計				8	10	2	18	21	17	10	16	13	115	
	合計	36	16	20	14	16	11	25	25	25	17	35	37	277	

相談計 746 件
元年度 747 件
30年度 505 件

④ 【自主事業】産後ケア事業（ジョイセフ）

コロナ禍における産前産後のサポートの不足により緊急的に立ち上げを行った。助産師との連携をいかし、それぞれの強みにより実現。コロナ禍に限らず現代の子育ての状況から継続的な事業の必要性があり、2021年度石巻市委託事業として継続につなげた。早期につながり適切なサポート、地域ネットワークへつながる機会となることから、今後の事業間連携も強化していきたい。

☆7月～3月毎月第2.4土曜日 10時～15時 各回4名定員【体制】支援者4名体制

【サービス内容】

電話またはLINEによる受付／受付時ルームウェアに着替え、
足湯／助産師による育児相談・母乳マッサージ
睡眠補助／母乳マッサージ不要な方へボディケア提供／外部手作りお弁当
／子育て情報の提供
おさがりコーナー必要に応じて関係機関へつなぐ

利用者4名×19回＝75組＝152名（3名の回が1回+双子2組の回が1回

⑤ 【委託事業】ファミリーサポート事業（子育て支援課）

① 去年度振り返りと課題

昨年度はコロナ禍で援助活動を自粛する会員も多数みられ、臨時休校等で急な援助や変更等に柔軟な対応が必要になった。

②今年度取り組んでみたいこと

ファミサポの枠では収まらない援助を正し、関係機関へ繋げ、最善な方法をコーディネートしていきたい。支援センターや小学校に訪問し周知活動に努めて行く。

	利用会員	協力会員	両方会員	合計
令和2年度	387	89	72	548
令和元年度	342	85	69	496
30年度	276	75	61	412

活動内容	合計	時間(h)
保育所・幼稚園の登園前の預かり	263	153:25
保育所・幼稚園の送り	340	171:47
保育所・幼稚園の迎え	216	108:10
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	146	258:23
小学校への送迎	155	59:51
学童の放課後の預かり	1	1:09
放課後児童クラブの迎え	509	227:02
放課後児童クラブの終了後の預かり	48	47:14
子どもの病気の援助		
子どもの習い事等の場合の援助	51	31:14
保育所・学校が休み時の援助	4	31:20
保育所など施設入所前の援助	1	0:30
保護者の求職活動中の援助	6	14:50
保護者の冠婚葬祭による外出、ほかの子どもの学校行事	3	5:35
保護者の外出の場合の援助	167	305:55
保護者の病気、その他急用の場合の援助	9	20:08
仕事（仕事復帰準備含む）	404	1198:22
出産又は産後の乳幼児の世話		
家族の病気の介護等		
リフレッシュ	88	185:05
合計	2411	2820:00

⑥ 【委託事業】子育て参加促進事業（子育て支援課）

開催日	実施	内容	総参加数 ※スタッフ除	連携・協力など
10月8日	企画会議①	今年度事業内容について		
12月6日	イベント①	おひさまフェスタ 10:30~12:00	12家族（パパ12名、ママ13名、0歳児11名、幼児1名）計37名	つむぎやさん 病後児保育室ミルク
3月6日	企画会議②	第2回イベント運営役割分担など		
3月16日	イベント②	おひさまフェスタ 10:30~12:00	12家族（パパ12名、ママ12名、0歳児12名、幼児3名）39名	NPO法人子育て応援団ゆうわ Kajiプロジェクト
情報発信		ブログによる発信	9回	https://www.forbabysmile.com/papa

実施内容について詳細は議事録をご参照ください。

- ・今年度は新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら開催となり、予約により対象人数を把握して開催しました。
- ・昨年度の新規メンバーに加え、今年度も4名の新規メンバーが会議に参加しました。
- ・会議の場や、イベントの場で、子育て中のパパたちが交流できること、子どもやママとの関り方について話を開ける機会がパパたちにとって必要であることをさらに感じた一年でした。
- ・父子手帖を読んだり活用したりしているか、という質問に対する返答も、9割が「はい」と答えていることや、パパのイベントにもっと参加したいという意欲的な声がアンケートからも見ることができ、また、イベント後に子育てひろば等でママたちの話題の中でも、パパたちがイベントだと参加しやすいことや、参加した後にママにありがとうと言ってくれたなどイベントにより日常の子育て環境が良くなっている様子がうかがえました。
- ・イベント内ではパパトークショーを行い、パパたちが理想と現実や、ママへの思いやりの大切さ、パパとママの違いズレなどについてトーク。父子手帖の内容にもふれ、周知を行いました。
- ・今年度は人数制限のためにも第一子0歳児のパパママと声掛けをしたことが、参加者が同じ境遇、仲間としての雰囲気が強まったと感じました。
- ・今後開催の際にはアンケートにしっかり答えてくれる方が増えているため、アンケート項目についてニーズや事業の効果を測れる内容を検討し改善を図りたいと思います。

⑦ 【委託事業】父子手帳作成業務（健康推進課）



妊娠中に読んでいる方が多い、まんがだったら読む、などの意見を取り入れ編集した。TV番組で紹介されたり、一部の教科書で紹介された。子育て参加促進事業の際に持参する家庭が増えている。

作成部数800冊、妊娠届け時配布

⑧ 【自主事業】ホームスタート事業（赤い羽根共同募金「社会課題解決みやぎチャレンジプロジェクト」）

① 去年度振り返りと課題

外出が困難な子育て家庭に、地域のボランティアが訪問し傾聴と協働でエンパワメントしていく「ホームスタート」という新たな取り組みを始めた。事業をコーディネートするオーガナイザーの研修、家庭に訪問するホームビジターの研修を行った。

オーガナイザー養成3名、ビジター養成7名。ビジター養成ではホームスタートジャパンや地域の講師依頼をし、全14回の講座を行った。子どもの権利を柱に、子育て支援を行う。

② 今年度取り組んでみたいこと

ホームスタートの仕組みを支える「トラスティ」（運営協議会）の立ち上げや、実際に家庭を訪問する援助活動をスタートする。利用者のみならず、地域住民へホームスタートの存在を周知していきたい。2020年6月～ジョイセフの協力により実施予定している。

⑨ 【委託事業】のぞみ野地域力強化事業（包括ケア推進室）

3つの柱を立てて、活動した。①地域住民による支え合いの促進②関係機関と連携した包括的多世代の場づくり③関係機関のつながりの課題の把握 子育て支援団体が地域包括の事業をおこなう新しいモデルに挑戦した。

実施は全9回

参加のべ 90代3、80代11、70代4、60代10、40代8、30代16、20代3、未就学23、小学1 計79人

⑩ 【指定管理事業】 いしのまき子どもセンターコンソーシアムによる子どもセンター（児童館）

コロナ禍の閉館など運営の困難さは大きかったが、オンラインを活用した場の提供などたくさんのチャレンジにつながった。また、緊急時にこそ子どもの声を聴くことを意識し、一緒に考えたり、乗り越える機会をもつことで、子どものこころの回復につながるということも大事にして関わった。リスク管理として施設管理面での感染対策と、差別など人的な対策を講じた。

⑪ 【自主事業】 ステップアップのための土台作り（日本NPOセンター）

①ビジョン・ミッションの見直し

ボランティア⇒助成金⇒委託事業と財源が変遷。安定感はあるが委託事業は契約上さまざまな制約もある。「自主事業」による「柔軟な支援」をしたいが委託事業にマンパワーがかかり自主事業や自立的な活動を生み出す力が低下している。

②人材育成

雇用が増え、NPOの理解、組織への理解を行う必要がある。

☆目指すゴール

ビジョンミッションが共通言語として新たに設定され、自立的な組織運営を実現するための中期計画ができ、全スタッフが主体的に取り組む気持ちになっている。

ファシリテーターに依頼し、計6回のワークショップを行い、中期ビジョン、中期計画の素案ができた。

財源の中期計画も作成していく。助成金は2020年9月まで。

その他

情報発信

石巻子育てメール「スマイル」の配信から公式LINEへ変更を行った。

LINEを活用したおさがり交換を行い、ベビーベットやベビーカーなど約40個のおさがり交換となった。